

地方厚生（支）局医療課長  
都道府県民生主管部（局）  
国民健康保険主管課（部）長  
都道府県後期高齢者医療主管部（局）  
後期高齢者医療主管課（部）長

殿

厚生労働省保険局医療課長  
(公印省略)

厚生労働省保険局歯科医療管理官  
(公印省略)

### 検査料の点数の取扱いについて

標記について、「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」（平成24年3月5日保医発0305第1号）の一部を下記のとおり改正し、平成25年5月1日から適用しますので、貴管下の保険医療機関、審査支払機関等に対して周知徹底を図られたい。

記



1 別添1第2章第3部第1節第1款D023(6)を次のように改める。

(6) HPV核酸検出

ア 「5」のHPV核酸検出は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。

イ 当該検査をHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。

2 別添1第2章第3部第1節第1款D023中(19)を(20)とし、(7)から(18)までを(8)から(19)までとし、(6)の次に次のように加える。

(7) HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）

ア HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）は、区分番号「D023」微生物核酸同定・定量検査の「5」HPV核酸検出の所定点数に準じて算定する。

イ 当該検査は、本区分「5」のHPV核酸検出の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できる。

ウ 当該検査は、予め行われた細胞診の結果、ベセスダ分類上ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。

エ 当該検査をHPV核酸検出と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。

◎「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」(平成24年3月5日付け保医発0305第1号)

改 正 後	別添1 医科診療報酬点数表に関する事項	別添1 医科診療報酬点数表に関する事項
	<p>第2章 特掲診療料</p> <p>第3部 検査</p> <p>D 0 2 3 微生物核酸同定・定量検査</p> <p>(1) ~ (5) 略</p> <p>(6) <u>HPV核酸検出</u> ア 「5」のHPV核酸検出は、予め行われた細胞診の結果、ベセダ分類上ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。</p> <p>イ 当該検査をHPV核酸検出（簡易ジエノタイプ判定）と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。</p> <p>(7) <u>HPV核酸検出（簡易ジエノタイプ判定）</u> ア HPV核酸検出（簡易ジエノタイプ判定）は、区分番号「D 0 2 3」微生物核酸同定・定量検査の「5」HPV核酸検出の所定点数に準じて算定する。</p> <p>イ 当該検査は、本区分「5」のHPV核酸検出の施設基準を届け出ている保険医療機関のみ算定できる。</p> <p>ウ 当該検査は、予め行われた細胞診の結果、ベセダ分類上ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。なお、細胞診と同時に実施した場合は算定できない。</p> <p>エ 当該検査をHPV核酸検出と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。</p> <p>(8) ~ (20) 略</p>	<p>第2章 特掲診療料</p> <p>第3部 検査</p> <p>D 0 2 3 微生物核酸同定・定量検査</p> <p>(1) ~ (5) 略</p> <p>(6) 「5」のHPV核酸検出は、予め行われた細胞診の結果、ベセダ分類上ASC-US（意義不明異型扁平上皮）と判定された患者に対して行った場合に限り算定できる。細胞診と同時に実施した場合は算定できない。</p> <p>(7) ~ (19) 略</p>